

平成 22 年 2 月 20 日
日本セキュリティマネジメント学会
セキュリティマネジメント学生賞審査委員会

辻井重男セキュリティ学生論文賞

セキュリティマネジメント学生賞 審査講評

21 年度の辻井重男セキュリティ学生論文賞には、全体で 17 の応募をいただきました。内訳は、セキュリティマネジメント学生賞に応募の論文が 8 件、情報セキュリティ学生賞への応募が 5 件、応募する賞の決定を審査委員会にゆだねるとしたものが 4 件でした。審査委員会にゆだねられた論文 4 件を、両賞の審査委員会で協議のうえ、2 件をセキュリティマネジメント学生賞に、2 件を情報セキュリティ学生賞に振り分けて審査をすることとなり、その結果、セキュリティマネジメント学生賞は、合計 10 編の論文を審査対象といたしました。

審査は、新規性（新規性が論文の中で主張されているか、先行研究等との関係が示されているか）、有効性（現実の問題についての解や効果が期待できるか）、信頼性（論理展開が明快で主張の根拠が明確に示されているか）を中心に、辻井賞の趣旨に照らして適切であるかなどを考慮して行われました。いずれの論文も、辻井賞にふさわしい内容で、1 次審査、2 次審査ともに真剣にかつ熱のこもった審査が行われました。応募いただいた皆様に感謝いたします。

審査の結果、今年度はセキュリティマネジメント学生賞 1 編に加えて、セキュリティマネジメント学生論文努力賞 3 編が選ばれました。

1. セキュリティマネジメント学生賞

- 受付番号 015 主筆者 源 直人さん

（情報セキュリティ大学院大学情報セキュリティ研究科情報セキュリティ専攻）

『デジタル教材の著作権管理に関する研究 新電子教科書プロジェクト』

講評：本論文が提案しているデジタル教材として新電子教科書の仕組みは、コンテンツ製作者が他者の著作物を利用し易くするもので、デジタル教材の発展に大きく寄与することが期待できる。新電子教科書のユーザと製作者およびこの仕組みの運営方法も提案されていて、他者の著作物利用に伴う対価の支払い方法も提案されているこの仕組みが、新しい慣行となる可能性も高く評価できる。

2. セキュリティマネジメント学生論文努力賞

- 受付番号 002 主筆者 Liska WALUYAN さん

(長岡 技術科学大学 大学院 情報・制御工学専攻)

『Potential Problems in People Management concerning Information Security in Cross cultural Environment The Case of Brazil 』

講評：企業の文化的背景によって潜在的情報セキュリティリスクが異なり得ることを明らかにした実証研究であり、適用した尺度の独創性も高く、意義深い具体例を深く考察している。

- 受付番号 014 主筆者 田村佑輔さん (東京電機大学)

『ユーザ標的型 Web サイト改ざんに対する検索エンジンを用いた検知 手法の提案』

講評：多発している「ユーザ標的型 Web サイト改ざん」をテーマに、“コト”が起こる前の対処策研究という誠にアグレッシブな研究である。特に“コト”が起こる前の対処策はセキュリティ研究にとって極めて重要な視点であり、十分に評価できる。今後増大が予測できる本テーマをより深化させ、信頼できる社会基盤構築の一翼を担えるよう拡充されることを期待する。

- 受付番号 016 主筆者 天野裕子さん (工学院大学 情報学部)

『外部委託における個人情報漏洩に関わる課題の研究』

講評：本情報漏洩事件・事故の原因は、既存のガイドラインを有効活用していないこと、委託元・委託先の経営者の認識の問題、コスト問題が係っていることに着目し、それぞれ仮説をたて、既存のガイドライン、既事故調査報告書などを活用し実証した点が評価できる。評価にさいして、見える化・定量化の工夫が顕著である。今後、具体的な改善に向けた方策の提案が待たれる。

セキュリティマネジメント学生賞は、賞状に加えて賞金 10 万円が、セキュリティマネジメント学生論文努力賞は、賞状に加えて本学会の全国大会並びに学術講演会の招待券が授与されます。

受賞者の皆様、おめでとうございます。